広報のあさひ
No.309
'82 8/15

生き生きと共同生活

一ツ沢で夏期自然教室

8月1日から3日間，一ツ沢で夏期自然教室が開かれました。

今回は町内の小・中学生45人と東京の子ども47人が参加。自然観察や川遊びなどを通しながら，食事を自らの手で作るなど有意義な共同生活を体験しました。

〈写真・長岡信悦広報委員〉

●今月の内容●

観光づくりみんなの手で……2
●町政すぽっと……6
●カメラルポ
夏にひろう……10
●みんなの教育
しつけについて母親はこう考える……12
●町民のひろば・情報室……14

◆人口と世帯数 〈7/31現在〉 人口/男5,581人・女5,675人・計11,256人 世帯数/2,676世帯

広報座談会

観光づくりみんなの手で

積極的な実践を

朝日連峰、大沼浮島、上郷ダム……豊かな自然を生かした我が町の観光地ですが、私たち町民は観光について、これまでどれほど関心を持ち対応してきたでしょう。

そこで今回は、我が町に合った観光とは何か。これからの観光づくりはどうあればよいかなどについて、いろいろな立場のかたがたに話し合っていただきました。

出席者

- ＊栗木沢・二見屋旅館　遠藤四郎
- ＊朝日鉱泉ナチュラリストの家　西沢信雄
- ＊朝日町観光協会総務部長　菅井敏夫
- ●司会　町広報委員長　多田秀雄

他人まかせでなかったか

●司会　朝日町の観光について今後どのような開発をすればいいのか、将来の観光づくりはどうあるべきかなど、皆さんが日ごろ考えておられることを率直にお話しいただきたいと思います。

まずはじめに産業としての観光をみた場合、わが町の観光資源で欠けているのは何か、課題は何か、といった点から伺います。

●菅井　県内のあちこちで自分の住んでいる町を聞かれ朝日町です、と言っても朝日町はどの辺にあるのかどんな町なのか、ほとんど知られていないのが実態のようです。

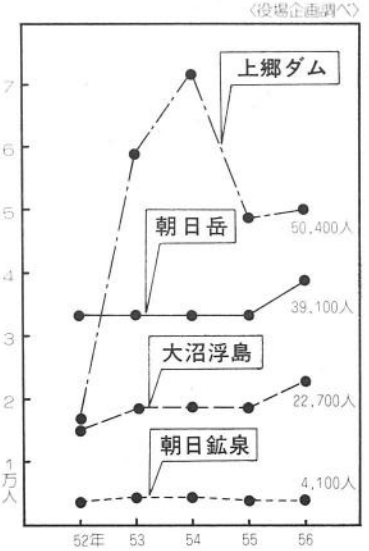
朝日岳や最上川は誰でも知っているが朝日町の名が知られていないのは、知名度の高い観光地がない結果ともいえます。

朝日町は観光資源の乏しい町なんだという町民の認識が低いのではないでしょうか。朝日町程度の観光資源なら全国どこの町へ行ってもあります。

町民感情としては確かに住めば都でわが町ぐらい良い所はないと思えてくるしすばらしい観光資源に恵まれているんだから町でもっと宣伝すべきだという意見になり、他人任せで、自分からやろうとしない、そんな町民性が観光開発にブレーキとなっていたんではないでしょうか。

＊町内の主な観光地入込客数

〈役場企画調べ〉



●西沢　町外の人に朝日町を紹介する場合、朝日連峰のすばらしさ、あるいは最上川、テング印の日本一のリンゴなどがあります。

朝日連峰-朝日川-最上川といった観光ラインはこの町の大きな目玉となり得る可能性はあると思います。

残念なのは今の若い人で朝日岳へ登ったことのない人が多いことです。そういった人が都会に行っても、朝日町を宣伝するための材

朝日岳の美しい自然はいつまでも残したい

料がなくなるわけです。やはり町民として朝日町の良さを知ることが大切だと思います。

遠藤　朝日連峰はかなり有名な山として知られていますが、町民でも登山のできない人は本当にすばらしい山であるということが分からないわけです。県内のほとんどの山は道路も整備され、気軽に行ける観光地となっています。

　朝日連峰も自然保護は大切ですが、自然を破壊しない程度でせめて鳥原山までの車道を整備すれば、すばらしい観光資源になるし、町民みんなが行けるようになると思います。

リンゴを生かした体験観光を

司会　朝日連峰のほかに大沼の浮島・上郷ダム・文化財などがありますが、これらは観光資源としてはどうでしょうか。

菅井　その程度の観光資源ならばどこにでもあるので、誘客をはかるには難しいと思いますが、大沼の浮島は方法によってはもっと観光客を集めることができるんではないでしょうか。

　浮島だけではなく、神社と一体的な信仰と結びつけた開発を考えればおもしろいと思います。

遠藤　大沼までの道路はひど過ぎます。朝日鉱泉までの道路も同様ですが、あれでは観光客は来ませんよ。どちらも県道ですが早急に整備して欲しいですね。

遠藤四郎さん

西沢　今の観光客は大沼の浮島ぐらいでは満足しないと思うんです。だからそれと結びつけるものがないとだめですね。その点でリンゴなんか良いと思います。

菅井　これからの観光は見る観光から体験観光ということで、自分で何かをやってみたり、行動することで楽しみを味わうといった観光が必要な時代ではないでしょうか。

遠藤　誰でも産地へ行けばおいしいものを安く買えると思うのは当然のことでしょうが、朝日町のリンゴは地元で買っても高いですね。また観光果樹園を始めれば市場評価が下がるとでも考えているのでしょうか。

　黙っていても高く売れるから宣伝しなくともよいと思うのは危険で、順調なときに次の手を打っておくことが大切だと思います。

司会　一つ一つの観光資源は小さいので、これに付加価値をつけた観光地づくりが必要と思いますが。

菅井　県内に訪れる観光客は、ほとんど天童か上山に泊っています。

　そこで、A観光地からB観光地へといったルートの中に朝日町を組み入れた、立ち回りコースを設定するよう働きかけることも必要ではないでしょうか。それに先ほど遠藤さんが言われたように、朝日岳は自然保護のためにこれまで開発を拒んできたんですが、せ

めて島原山まで大衆が親しめる山にすべきだと思います。

西沢　その開発は大きな賭けだと思います。というのは、現在朝日連峰へ来る人は、開発されていない自然が残っている山だから来るのだろうと思うんで、開発されればどうなるか難しい問題ですね。

特色ある観光づくりを

司会　わが町では朝日連峰・最上川・日本一のリンゴなどが観光の中心です。これを産業として開発するにはどんな手だてが必要でしょうか。

西沢　朝日の〝カモシカ〟を見に来る人は相当好きな人で、一般の人はあまり興味がないようです。

西沢信雄さん

春秋は必ず見られますが、それだけでは観光として誘客は難しい。渓流釣りなどはPRすれば人は来るが、来なくなるのも早い、それで釣り場を整備したりキャンプ場を造ったりすれば、かなりの人を呼ぶことができるのではないでしょうか。

菅井　最上川の激流に挑むいかだ下り日本選手権大会のようなものを催すことはできないでしょうか。

大学などへ呼びかけ競技会のようなものを恒例行事とすれば、やがてはスリルに満ちた舟下りも可能になると思いますが……。

遠藤　月山花笠ラインの開通、または山形空港への直通路として置賜地域から二八七号線を通る車がますます多くなると思います。

そこで国道沿いにリンゴの直売所を設けるなど、もっと宣伝する方法を考えるべきですね。

「リンゴとワインの町」とか「日本一のリンゴ」とかいってもそれが自己満足だけでなく、全国的に知られてみんなが認識するようにならなければほんものではないはずです。その点口先だけではだめなんで、PRをいかにするか、今後の課題と思いますが……。

菅井敏夫さん

菅井　最上川の観光としては白鷹町ではアユ祭、新庄ではカド焼きをやっているが、朝日町ではハヤ祭でもやったらどうだろう。

そして秋には町内産の牛肉で盛大なワイン祭を行うなど、特色ある行事を定着させることが観光づくりにつながるのではないでしょうか。

遠藤　アユの場合は天然ものと養殖では味が相当違いますが、ハヤは養殖ものでも同じです。その点大量に必要な場合でも対応できるので、ぜひやりたいですね。

自分で串に刺し自分で味付けしながら食べるのは、たいへん喜ばれると思います。

西沢　登山客はいくら増えても町にとって直接的な利益は何もないので、その辺を検討してみる必要があるのではないでしょうか。

この間サクランボ狩りのついでに朝日鉱泉に来られた人がありましたが、リンゴ狩りをベースにして、それと浮島、あるいは朝日鉱泉といった組み合せによる観光づくりが考えられると思います。

菅井　朝日町のリンゴを観光として売り出すためにリンゴ農家一戸当り一箱ぐらい出し合って、サクランボのように東京方面で大々的にPR運動をするとか、あるいは誘客用のハガキをつくるとか、今がPRの必要なときであると思います。

日本一といってもいつまでも続くとは限りません。

漁業面でも同じようなことがいえると思います。大量に放流して、年一回は無料で釣りを楽しんでもらうことも考えるべきではないでしょうか。

西沢　上郷ダムは釣り場として、この辺には見られない大きな規模ですので、もっと活用できると思うんですが。

一人ひとりが案内役として

司会　人を呼べるような

▶名勝〝大沼の浮島〟と結びつけた観光ルートを

▲名産のリンゴを生かした観光はどうか

観光資源さえあれば客は黙っていても来るんだという安易な考えではだめで、またわが町のように優れた観光資源に恵まれていない地域としては、町民全員が案内役として接客する心がけが必要だと思いますが、その点についてのご意見は。

菅井　朝日町で青年大会があったときにみた町民の盛り上がりを観光面でも示して欲しいですね。一つの目的意識を持っと、それに向かって燃えるという町民性があるので期待できると思います。

遠藤　私は客商売をやっていますが、同じ商売でもそれぞれ特色のあるものを出さないと客は来てくれません。自分のところのカラーをつくることが大切ですね。一度来てくれたお客さんが良かったと思ってもらえるような接客態度が非常に大事だと思います。

菅井　朝日町民が町外の観光のために、年間四億円を超す支出をしているといわれますが、観光面では支出だけで入るほうはほとんどない状態です。

そこで朝日町と同じような町と連携して、交換観光のようなお互いに補完し合うことなども考えるべきではないでしょうか。

誘客対策という点で、西川町に見ならうべきことがあると思います。東京方面の客を対象に「雪見酒」というキャチフレーズで、誘客運動をしているようです。どこにもない特色のある見せもの、あるいは独自の味というものを売り出すことが必要です。

西沢　朝日町のようなところでは最初からおおぜいの観光客を呼ぼうとしても無理で、町民みんなが親戚や友人をダム祭に呼んだりすることがやがては観光へ結びつくのではないかと思います。

構えすぎるとたいへんなので、個人個人のちょっとしたアイデアが必要なんですね。

菅井　町民自からが朝日町の良さをよく認識し、一人一人が案内役という意識を持つことが大事で、小さなもの、身近にあるものを見直すことも必要でしょう。

観光地としてはとりえのない町かもしれませんが、緑や花につつまれた美しい町並みであれば、町全体が観光地になると思います。

それぞれの立場で美しい町に

司会　最後に観光づくりという点で、町民の自主性、盛り上がりに大いに期待する面があると思うんですがいかがでしょうか。

多田広報委員長

菅井　どこの部落にも神社や公園がありますが、まず手はじめに、これを常にきれいにしようとする運動を起こし、観光元年としてはどうでしょうか。

西沢　観光という意識が先に立つと難しくなるので、生活に潤いが出てくるような環境美化運動を起こすことをみんなで考えたいものです。

遠藤　白鷹でアユ祭をやっているように、朝日町ではぜひハヤ祭など、自らやれるものからやってみるべきだと思います。

論じてばかりいても前進はない、観光協会や漁業組合などが積極的に実行に移すべきですね。

司会　観光をはじめから産業として考えるのは、わが町では難しいではないかということですが、やはり地域の人々が豊かになるような日常の行動なり、心がけが積み重なって朝日町独自の観光づくりにつながっていくんだという結論に達したようです。

本日は貴重なご意見、ご提言をいただきましてありがとうございました。

●町政すぽっと

知事とひざを交え懇談

＊知事と語る日盛会に

県政を理解し、住みよい町づくりに生かそうと、七月三十日、中央公民館で知事と語る会が開催されました。

この日は、青年団や婦人会、長寿クラブの代表のほか町議会議員、区長評議員など約百名が出席。まず板垣知事が県政のあらましについて説明したあと、懇談にはいり「若者の定住促進対策」など六項目について真剣な話し合いが行われました。おもな内容は次のとおりです。

■朝日分校の整備拡充について

∧知事∨県教委所管なのでその意向を伝えておく。

■企業誘致の促進を

∧知事∨具体的な受入れ体勢を示してもらえれば、県でも努力する。

■若者の交流できる施設を

∧知事∨宿泊施設の設置はむずかしいと思うが、生涯教育の観点から検討したい

■老人保養センターの設置を

∧知事∨補助事業としては該当するものがない。

■山形～朝日線と国道二八七号線の整備について

∧知事∨道路改良による時間短縮は、町の発展につながることだ。県としても努力したい。

▶若者の交流できる施設を整備して！とせまる佐竹亮一連合青年団長

農地造成事業に着手

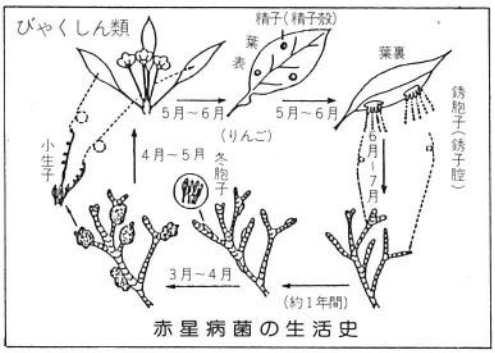
●新農構で西長根地区に

昨年から計画づくりを進めていた新農業構造改善事業がいよいよスタートし，そのトップを切って，去る7月9日，西長根地区農地造成工事に着手しました。これは，今年から2年間で春日沼の北側に，総面積21㌶（植栽面積14㌶）の農地を造成しようというもので，農地造成組合（佐竹充広代表）には，八ツ沼地区や和合地区など10人が加入しています。

また新農構の事業としてことしから大谷地区を対象に推進活動を進めており，農地の集団化などを図ることにしています。

▲西長根地区農地造成事業の起工式

びゃくしん類の庭木は リンゴ赤星病の原因に



赤星病菌の生活史

かいづかいぶき、たまかいづかいぶき、はいびゃくしん（そなれ）、みやまびゃくしん（しんぱく）などびゃくしん類の庭木は、リンゴ、ナシの赤星病の発生原因となります。

良質リンゴの安定生産のために、びゃくしん類を伐採するか、または次のような手入れに留意して、赤星病の発生防止に御協力ください。

●小生子（風によって一㌔ぐらい飛散する）の発生する四月中、下旬に、びゃくしん類の消毒を二回行う。薬剤は、石灰硫黄合剤（三〇倍）または、バシタック水和剤（一、〇〇〇倍）です。

▶リンゴの葉についた赤星病

ニューハウス
つぎつぎと建築

双葉住宅団地

ふるさとに住まいを

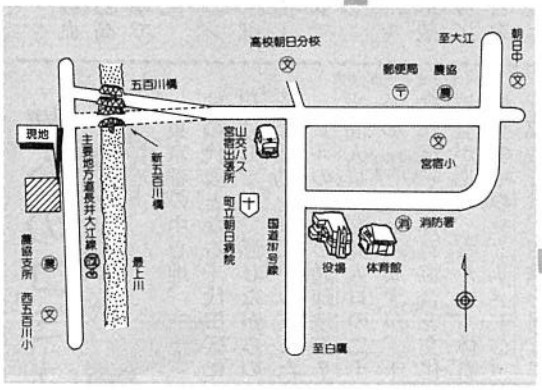
昨年秋に誕生した双葉住宅団地も，おかげさまで残すところ18区画となりました。現在，新しい住宅がつぎつぎと建築され，団地は活気にあふれています。

土地を購入された方の内，４人は関東地方に住んでおられた方で，朝日町の美しい自然と，温かい人情を求めて，第二のふるさととして双葉団地に定住されます。新五百川橋も来年度に完成しますので，宮宿の街がますます近くなります。

分譲のお申込みはお早目に♪

（坪価格33,000円から）

双葉住宅団地分譲区割図



《分譲の条件》

- **資格**／町内外を問わず，住宅を建設するための宅地を必要とする方
- **条件**／譲渡後おおむね10年以内に住宅を建設すること
- **特典**／①土地取得資金に対する300万円までの融資制度あり（利子5.5%）
  ②住宅金融公庫より融資を受けて住宅を建てる場合利子補給あり（500万円まで2%の利子補給）

《分譲の概要》

- **所在地**／朝日町大字三中
- **分譲面積**／延べ12.400平方㍍（3,800坪）
  31区画
- **価格**／坪当り33,000円～38,000円
- **道路**／幅員６㍍アスファルト舗装
- **給水**／上水道完備
- **施設**／緑地・集会場用地・駐車場用地２ヵ所・防火水槽２ヵ所・消火栓２ヵ所・ゴミステーション完備

＊ご相談・お申込みは
朝日町役場企画課へ　☎ 02376(7)2111

脳卒中発症疫学調査結果のあらまし

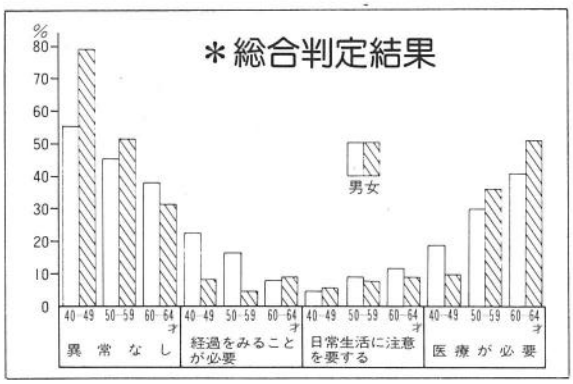
▽調査期間
昭和54年～56年の3年間
▽調査実施機関及び研究者
山形大学医学部公衆衛生学講座　新井宏明教授他

■目的
昭和26年以来死因別死亡のトップにあった脳血管障害（脳卒中）は、悪性新生物（ガン）にその座を譲ったとはいえ、最盛期の結核の死亡数を上回り、また後遺症のため、リハビリテーション中の人や寝たきりの人の数も死亡数とほぼ同数といわれている。しかも40歳前後のいわゆる働き盛りの成人に多発することから、社会的だけでなく、家庭的にも重大な脅威を与えています。

さらに脳卒中発症と死亡は、市町村レベルで相当の地域差があります。県では県内の脳卒中標準化死亡比の高率ならびに低率6町村を選定し、下記の諸調査を委託しました。朝日町は死亡比低率の町として指定をうけました。

■調査のあらまし
町に定住する40～64歳の住民から男女合計621名を無作為抽出（受診者559名）して対象者とし、循環検器診およびそれに付随して、栄養・食習慣、生活環境の諸調査を56年6月24日より26日までの3日間で実施。

■循環器検診の結果



検診対象となった男女全員に、問診、身体計測、尿検査、血圧測定、心電図検査、眼底検査、血液検査を実施。40歳代の女、異常なし79.6%に対し男が56%と低く、しかも医療の必要ありが18.1%と高い。また医療の必要な人で治療をうけていない40歳代の男が8.6%で女の1.9%に比べ、男女差が著しい。「がまん型」「気づかず型」が女よりも男に多く、今後の予防対策上の問題点の一つといえます。

■まとめ
❶循環器検診結果　高血圧出現率は、高令者ほど高く、男は女に比べて高率です。
❷貧血者（ヘモグロビン値男12g/dl、女10g/dl未満）の出現率は女が男より高率で、特に40才代女では7.8%の高率でした。
❸血清総コレステロール平均値は、男の場合、最も望ましいとされる180～200mg/dlに達せず、160mg/dl台を示しました。今後の栄養と食生活改善の問題点として留意されるべき点です。
また各年代とも平均値は

都会のコミュニティ組織

東京連絡事務所だより No.9

東京都の中心地、二十三区の代表となる千代田区に居住し、肌で感じながらの主な活動を選んでみました

ビルの谷間の過疎地帯？

夜間人口は昼間人口の二十分の一といわれますが、千代田区には体育協会と文化協会があり、なかでも体育協会の中のレクリェーション協会では、四季を通じて年四回のハイキングを行っています。毎回五十人～百人が集まり、区民のふれあいの場となっています。

〝ふるさと千代田〟の夏の風物詩として、七月十三日「戦没者追悼式」と「納涼灯ろう流し」が行われます。また十月には、〝千代田まつり〟があり、区民体育大会を皮切りに、文化祭や皇居参観、古本まつりなど多彩な催しが繰り広げられます。これらも区民の和を深めるよい機会となっています。

さて私が住んでいる町会の組織をご紹介しましょう。町会長を頭に、総務、会計、防犯、交通、防災、衛生、厚生、婦人、少年の各部に分かれて活動しています。町会を分班した隣組は、十～二十人の会員で構成されますが、居住者が少ないため、冠婚葬祭は町会の役員と婦人部がお手伝いします

我が町会に青年団はありませんが、青少年の健全な育成のために発足した「外神田文化体育会」があります。婦人部の活動は少なく、年一回の一泊旅行や神田明神大祭の手伝いを通して会員の和を深めています。

（池田政季）

▶尾瀬へのハイキング

女が男より高い。さらに、高脂血症の疑（260㎎／dℓ以上）の出現率は、極めて低率（男0.7・女2.2）でした。

❹検診の総合判定結果、医療を必要とするが現在治療をしていない者の出現率は男が女より著しく高い。

❺栄養調査結果、ビタミンB_2不足傾向が認められ、また食塩摂取量は、全般的に摂取過剰の傾向でした。食品群別では、野菜、魚介肉類、卵類、乳・乳製品に摂取不足傾向があり、特に乳・乳製品の摂取量が少ない。みそ汁の一日平均摂取杯数は1.73杯でした。

❻食習慣調査において目安量をほぼ達成していたのは、穀類、野菜、魚類で、乳類、卵類、肉類については目安量に達していない。またみそ汁の一日平均摂取杯数は、男性が女性より多く、農業従事者が、事務系従事者より多かった。

❼生活環境調査の結果では、便所が屋外にある世帯が約30％あり、農家世帯に多かった。便所に暖房設備のある世帯は非常に少なく、冬期の暖房と共に今後の住居環境の整備上の眼目となるでしょう。

日常使っている「みそ」の種類は自家製が多く、3年みそがほとんどでした。住民が摂取する塩分の中で、みその占める割合は大きく、みそ汁をめぐる栄養指導は、減塩対策上有効な手段となります。

❽3ヵ年の脳卒中発症者65人中、中年期（30～59歳）の発症者が12人あったことは注目されます。

ワイン塾

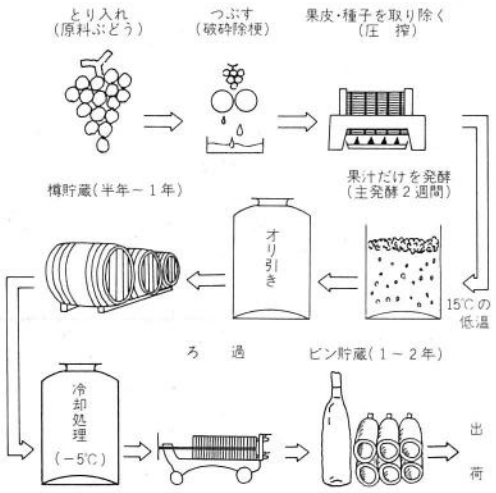
⑤白ワインの醸造法

■白ワインのできるまで

白ワインは，緑黄色ぶどうを原料とします。よく完熟したものを収穫し，す早く工場でつぶし，次に圧搾機にかけて，果皮と種子を取り除きます。果汁だけを発酵タンクに移し，ワイン酵母を加え15°Cの低温で，2週間ぐらい発酵させます。

その後，白ワインの持つフレッシュさを失わないよう注意しながら，オリ引き，樽貯蔵（タンク貯蔵），冷却処理，ろ過，ビン貯蔵を行い1～3年後，フレッシュで芳醇な白ワインができてくるのです。

＊朝日町ワイン(白)のできるまで



※今年の白ワインの醸造量は，セイベル・リースリング・リオン・デラウェアなど合わせて70,000kgを予定しています。これは720mℓ詰のビン約70,000本という本数になります。これらの原料ぶどうは朝日町をはじめとして，寒河江・大江・西川など西村山地区からあつまってきます。

朝日町議員チーム優勝

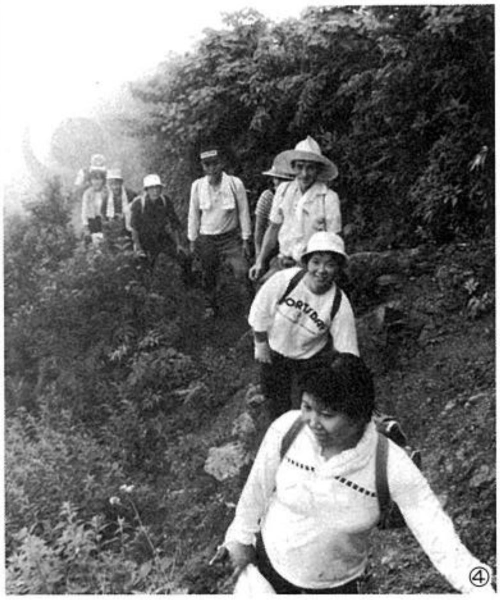
＊村山地方議員ソフトボール大会

去る八月六日、炎天のもと第五回村山地方議長会主催の議員ソフトボール大会が大江町を会場に開催されました。

参加チームは、大石田町、山辺町、中山町、河北町、大江町、西川町、朝日町の各町議会議員七チームのリーグ戦で行われました。朝日町議会議員チームは、宿敵山辺町議会議員チームを二回戦六対五の接戦で破り、念願の全勝優勝を果しました。

朝日町議会では、昭和五十一年から、スポーツ議員連盟（会長海野武議員）を結成し、相互の親睦と健康で文化的な町づくりを目指し、日ごろ活動をしています。

③


④

てひろう!

夏……躍動の季節。

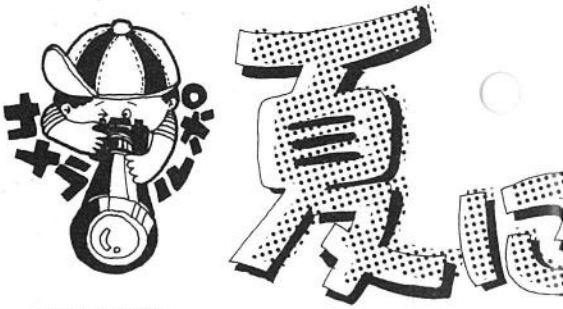
ぐずついた天気が続いた８月初旬でしたが，町民登山をはじめさまざまな行事が行われました。

８月１日の町民登山には80名が参加。終日小雨が降り続く中，全員元気に大朝日岳項上をめざしました。また恒例となった壮年ソフト大会や一ッ沢での高校生ボランティア交歓会，スポーツの強化合宿など，夏ならではの行事が繰り広げられていました。

⑤

⑦

⑥

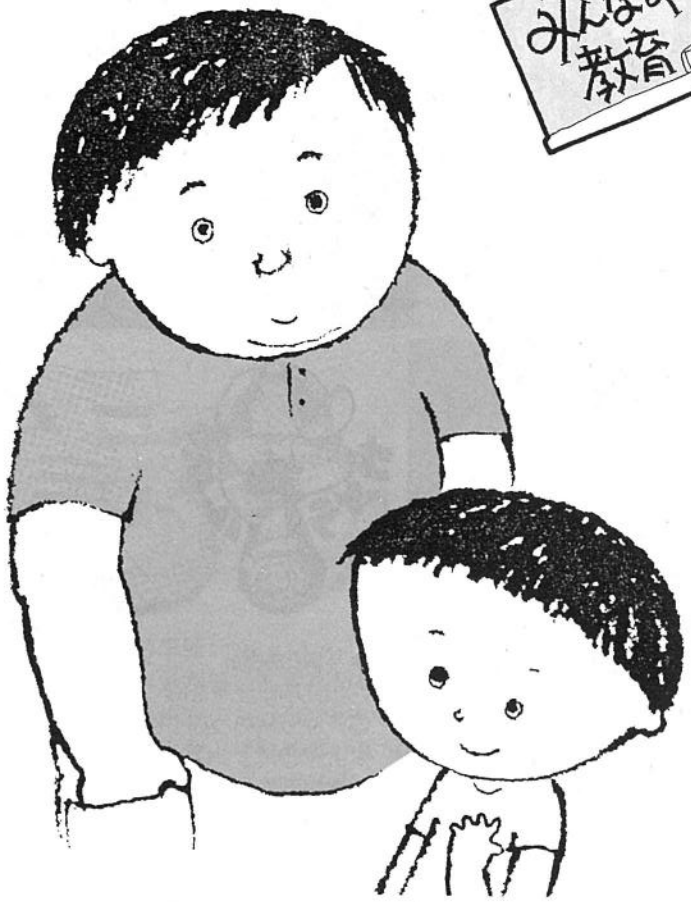


＊写真の説明
①出発前に注意を聞く②子どもたちも元気に登った③チョットいっぷく④ガスで視界はきかないが気分は上々⑤ボランティア交歓会はキャンプファイアーで最高潮⑥ソフトボールで壮年層の和が広がる⑦自然教室で新たな発見⑧カマドで木をたきバーベキュー（ボランティア交歓会）⑨強化合宿に挑戦（中学女子バスケット部）

しつけについて母親はこう考える

――愛のまなざしで――

みんなの教育



子どもの喜んでいる顔―それはほんとうに美しい。その目は湖のように澄み、その顔は花のように輝いています。この子どもたちがすくすくと育つために、私たちはもう少し真剣に考えてみたいものです。

おしつけはほどほどに

躾という字は身が美しいと書きます。

正しいあいさつができるとか、立居振舞や生活習慣がきちんとしていることはたいへんよいことです。また、身辺が常に整理整とんされていることはすっきりと気持ちがいい。そしてこれは子どもの時からの習慣で、ある程度までは身につくものです。だから家庭でのしつけが大切だといわれるわけでもあります。

反面、とてもき帳面な親に「お片づけ」を厳しくしつけられたところ、子どもがオモチャを出して遊ばなくなってしまった、という話もあります。

遊びたい意欲と、後片づけがつらいという気持ちが、子どもの心の中で争ったあげく、遊びたい心が後片づけを強制される力に負けてしまったのです。

幼い心に、こういう負担を与えることもあるということを、しつけをする親は心にとめておきたいのです。また、食卓でのマナーは大切ですが、食事を楽しむ気持ちを損うほど厳しいしつけも、子どもの健康な発達のためには、むしろマイナスです。

「静かにしなさい。おとなしくしなさい」と言い過ぎると、子どもは自分の家でも伸び伸びできないので、親の目の届かないところで自己回復のために、親の思いもよらないことをやってのけたりするのです。

躾とは心の美しいことであってほしい

お茶やお花などのように、形から入っていく美しさもありますが、人の生きていく上でまず、心があってそれが形となって表われるようであってほしいものです。

心がなくてあいさつされないことよりも、心の伴わないあいさつのほうが不愉快です。

子どもにあいさつさせたいと思ったら、それを教えるよりも、親から先に「おはよう」と声をかければ、子どもはきっと「おはよう」とこたえるでしょう。自然な心のふれ合いの中から、ほんとうのしつけは生まれると思います。

おかあさん なぜぼくを産んだんですか

「小さい時から鍵っ子で両親は共働き、私は留守番でした。中学生の時です。両親は酒のにおいをさせて夜おそく帰ってくる。その上寂しく留守番してる私をひどくしかり、ポンポンどなる。頭にきて親父に飛びかかって、思わず首をしめてしまいました。母が大声で叫んだので我にかえり、手をゆるめました。その夜、家をとび出したんです。先生、親っていったいなんですか。子どもより会社のほうがたいせつなんですか。それじゃなぜ、私を産んだんですか」

これは少年院で告白した一少年の手記の一部です。極端な例ではありますが、共稼ぎの家ではどうしても、子どもが正しく伸びていくために、欠けるものがでてきます。それはふれ合いの教育です。

子どもの「独立心を育てる」ことと、「ふれ合い」の二つは、子どもの成長に絶対必要なことです。

子どもが慰められ、励まされる相手はなんといってもおかあさんです。だから、たとえ夕方から夜寝るまでの短い時間であっても、子どもの「ふれ合いたい」という願いを、できるだけ満足させてあげてほしいと思います。

いっしょにお風呂に入って体にさわられたら、さわり返すことによって愛情が通い合います。これは幼い子どもほどだいじです。

ふれ合いによって心は安定し、話し合えるので、子どもの喜びや悲しみ、考えや思っていることなどが、よくわかってきます。

時間のとれない時は、母と子の交換ノートなどを作り、文で確かめ合います。

「うちの子に限って」などとあわてることのないよう、いつも子どもの発信を受けとめて、心や姿を知っていたいと思います。

おとうさんの出番ですよ!!

六歳から十八歳未満の子どもを持つ父親を対象に行った全国調査によれば、

「子どもの養育について妻とよく話し合うか」では「時々やる」が四九%でした。そして帰宅時間が遅いほど比率は下がります。

- 午後六時以前　三五%
- 午後十時以降　二五%

「しつけの担当は」では

- もっぱら妻　三五%
- 私のほう　四%

でした。妻まかせの傾向は、妻が定職を持つ家庭でも強く、六三%が妻の担当。

「しつけの厳しさ」では

- 非常に厳しい　五%
- 厳しいほうだ　二七%

たとえば、万引、暴力など非行の芽となるようなものは、早いうちに摘みとらなければならない。しかる時は一対一がよく、そばに口出しや相づちなんかあると、子どもは迷ってしまうので、なるべくほかの人はいないほうが効果があります。

「テレビで、ポルノや暴力の場面が多い番組への反応」をたずねると、

- 見ないように言い聞かせており、見ていたら、やめさせる　二〇%
- 自主性に任せる　五五%

で、結構甘い対応ぶりであることがわかります。

「子どもとの対話」では

- よく話する　四八%
- 時々する　四二%
- あまりしない　八%
- ほとんどしない　二%

という状況で、おとうさんの出番が期待されます。

子どもたちが親を必要とする時、親の愛情を出し惜しみしてはなりません。

お金はすぐなくなるけれども、私たちの愛はくめども尽きる日はないのだから。

子どもの瞳をいつも、まっすぐに見られる親でありたい。子どもの求める時に与えないで、後で追いかけても、やすやすと元には帰ってこないことを忘れずに。

△編集／教育広報委員会▽

県中学総体

剣道男子が優勝

＊テニスは個人で栄冠

去る七月二十三日から三日間新庄市を中心に開かれた県中学校総合体育大会で、剣道男子団体とテニス個人が県一の栄誉に輝きました。

剣道男子団体はDブロックの三校を打倒し準決勝へ進出。上山北中を三対一（一引分）で破ったあと、決勝では庄内の強豪、遊佐藤崎中と対戦、四対一と圧勝し剣道朝日の強さを、まざまざと見せつけました。さらに個人戦では、遠藤智義君が健闘し準優勝をかざりました。

中学剣道県一は、男子として四十五年ぶりのことです。このたびの成果について学校では「子どもたちの努力はもちろん、保護者会の連携や五十嵐義一講師長をはじめ多くの指導者の皆さんのおかげです」と語っています。

剣道部ではいま、八月二十四日の全国大会へ向けて、強化合宿をするなど猛練習が続けられています。

（出場選手／阿部真司、小松光之、大谷一夫、村山忍遠藤智義、鈴木泰生、遠藤敏行）

テニスも健闘

テニスは団体戦で、準優勝の酒田三中に、二対一で惜敗。しかし、個人戦で、東海林靖志・渡辺正幸組が順調に勝ち進み、決勝は温海山戸中と対戦。四対一で破り、部創設三年目にして西村山に初めて優勝杯をもってきました。

▶喜びの選手たち（右剣道部員、左テニス部員）

町民のひろば

●ご意見・話題をお寄せ下さい。―広報係―

手づくりに感謝して

「ばあちゃんドーナツつくってけろチャ」と三人のお孫さんに頼まれているおばあちゃんのうれしそうな顔。

ばあちゃんは終戦の時、満州から引揚げて来たのです。それ以来ドーナツ作りの名人です。今では時折昔をしのんでたくさんのドーナツを作って幼い孫たちやお友達に食べさせてくれるのです。

私も何度となくごちそうになり、話も聞いてまねて作ってみるけど、とてもばあちゃんの味にはかないません。

今は何でも買えて物が豊富で結構な世の中ですが、店から買ったものをすぐ食べさせては作ったことにならないし、幼い子どもたちに味を仕込むことはできません。

あの時作ってくれたママの味、おばあちゃんの味を、この夏休みを利用してぜひ子どもたちの胃袋まで浸透しておいて下さい。そうすると子どもたちがふるさとを離れた時、きっとなつかしくてこの町を忘れないと思います。

このごろは家庭菜園ブームで、ほかの人より一日でも早くと、夏は枝豆、とっきび、トマトと数多くの収穫に励む皆さんをお見かけします。これらもきっと愛する家族に食べさせようと汗を流すのですから、ごちそうになる家族は全員必ず「おいしい！」と口に出してほめてあげることです。また、おすそ分けをいただいた時も、感謝してごちそうになる心がけがたいせつです。

おいしいものを作ってもらった時は、大人でも子どもでも「おいしいヨ……」っていいましょうね。

（鈴木紀　広報委員）

おじゃましま～す

No 5

知らせたいこと、言いたいことあったらデンワ下さい。うかがいます。☎8－2424　7－3436

はばたく若人

色づくリンゴに感激

大暮山　長岡君代さん

「生まれたところがやっぱりいいんでしょうね――定年で会社を退職した父が田舎に帰ってのんびり暮らしたい、というので、私もついて来ちゃった」。

五月末に、東京から大暮山滝ノ沢に、家族ぐるみで転入してきたばかり。

「最初は静かすぎてとても退屈でした。買物に行くにも交通の便は悪いし…。それで思い切って自動車の免許をとりました。買ったばかりの小型ジープを毎日乗り回しているけど、道路がもう少し良くなればネ」と話す時の白い歯が印象的。

「木になっているリンゴが色づいたのを見て、すごく感激したの」。

やがて来る冬が心配という、明るくしっかりしたお嬢さんです。

（趣味は読書。三人家族）

★

若い力を青年団活動に

四ノ沢　清野文一さん

「高校野球県大会で二回戦に進出し、酒商との対戦で九回裏に逆転負けした時はくやしくてしかたがなかった」と語る彼は、当時の朝日分校野球部の主将だった。「最後の一球で負けたことが、いちばん頭に残っている。あの時以来何をするにも、最後まで気を抜いてはいけない。と自分に言い聞かせています」

高校卒業後、長野県農業大学の果樹実科で一年間リンゴづくりを学んできた。「東一青果へ研修に行ったが、他産地でも優秀なところが増えています。朝日町も日本一の座にあぐらをかかずに、しっかり締めてかかるべき時だと思います」。

いま彼は連合青年団の体育文化部副部長として、日夜若い力を燃やしている。

（趣味、野球。六人家族）

朝日分校山岳部に知事表彰

●全国自然公園大会で

7月25日，蔵王坊平で開かれた全国自然公園大会の席上，朝日分校山岳部が知事表彰を受けました。

これは，山岳部創設以来毎年欠かさず，白滝～鳥原山～主峰大朝日岳間の清掃活動を続けてきたことが認められての表彰となったものです。

◀知事から表彰を受ける樋口義一部長

和合小学校

健康優良校で県代表に

このほど和合小学校（川勝庄三校長、児童数七十二人）が、県健康優良学校審査で小規模校の部の最優秀に選ばれました。

山上一郎県教育次長をはじめとする審査委員が厳密な審査を行った結果

①子どもたちが明るく生き生きしていた。

②和合太鼓の継承など、学校と地域のつながりが強い。

③山国の特性を生かした体力づくりに励んでいる。夏は登山マラソン、冬は歩くスキーで鍛えている。

そのほか、児童の保健委員会活動やミニバスケ少年団なども認められています。

和合小はこれから県代表として全国審査に参加しますが、いま学校では夏休み返上で記録書作成に追われています。

▲和合太鼓に合わせ踊る子どもたち

▲平和風鈴の塔を前に慰霊祭（ハバロフスクで）

異国の丘に眠る戦友を訪ねて

ソ連地区死没者追悼墓参団員　元町　海野　敬次

戦争が終って早くも三十七年。日々薄れてゆく記憶の中で、今も昨日のごとく鮮烈な印象を残しているシベリヤ。

長期間ソ連の強制労働に駆使され、シベリヤの飢えと寒さの中に朽ち木のように倒れた人々の数は六万と言われています。これら墓標なき戦友の慰霊のため七月十五日、全国から参加した遺族、抑留者代表一八一名は、ソ連差し回しのアエロフロートの特別機で、新潟空港から一路シベリヤへ。飛ぶこと二時間、目的地ハバロフスクに着く。

三十三年ぶりでシベリヤの大地に立つ。感無量——。空港からバトカーの先導でホテルへ。見渡す限りの大草原、さすがに広い。黒竜江の流れに沿い中国国境まで六十粁、人口五十万を数えるソ連極東の中心都市となっています。

大きな建物は日本人捕虜の労働のおかげで出来た物が数多くあるといわれまたものです。

朝日町のソ連地区死没者二五名の名簿を墓標の下にうずめ香をたきました。夫の墓を探し当て墓前に泣き伏す妻、顔も知らぬ父の墓に写真をかざり地酒をそそぎ語りかける息子、戦友の名をよぶ友の姿。真新しい墓標、風鈴之塔の前で慰霊祭を行い、最後に「夕やけこやけ」を合唱したあと、墓の周りの小石を遺族に分けようとハンカチに包みました。

十七日次の目的地ブラーツクへ。空路で三時間半、人口二十六万でアンガラ河を止めたソ連自慢の堰堤五粁のダム、出力四五〇万粁の発電所があります。

バーム鉄道三〇〇粁は、私の四年間の抑留中手がけた鉄路です。元収容所の建物や墓地は湖底に沈んで昔の面影もなく、十階建てのアパートなどが並ぶ青年都市ブラーツクが生れていました。

湖底に沈んだ友の慰霊祭を行い、鉄路建設のつらかったことを思い起こし、胸のつまる思いで湖上に花を投じ汽笛を鳴らして友のめい福を祈る。

二十日最後の目的地イルクーツクへ。三百年以上の歴史をもつ、人口六〇万のシベリヤ最大の工業都市です。本州ほどの広さのバイカル湖まで七〇粁、りっぱな建物が並び帝政ロシヤを思わせる古い街です。

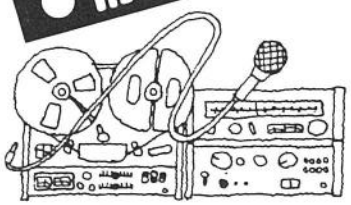
街の見える小高い丘に、ソ連人墓地と並び四〇六柱が眠る日本人墓地があります。イルクーツク地区死没者追悼墓標を建立し、最後の慰霊祭を行い七日間の全行程が無事終りました。

今回の墓参にあたり、各地で盛大な歓迎を受け、墓地もきれいに清掃されていることに感謝の念を強くしました。そして、二度と訪れることのないであろうシベリヤの大地に別れを告げた時、生きて帰れた我が身の幸福をしみじみと感じました。

全世界が永久に平和であることを願い、日本海を渡る風よ今日も明日も風鈴の音異国の丘に流してくれよと願いつつ、二十二日無事帰国しました。

▶肉親の墓を探す（イルクーツクで）

●情報室



税金の話

＊マイホームと税金

「マイホームを持ちたい」という夢は，多くの人が持っていますが，実際にマイホームづくりにとりかかると，いろいろな問題がでてきます。

＜登録免許税……国税＞

土地や建物などの不動産を取得し，所有権の登記をするときにかかる税金です。

税率は次のとおりです。

①新築の場合……0.6%
②売買の場合…… 5%
③相続の場合……0.6%
④贈与の場合……2.5%

なお，一定の要件にあてはまると，①，②の税率は軽減されます。

＜不動産取得税……地方税＞

不動産を取得したときにかかる税金で，税率は不動産の価額（固定資産税の評価額）の3%ですが，一定の要件にあてはまると軽減されます。

＊お酒や品物にかかる税金

私たちの日常生活に深いかかわりのある身近な税金として，お酒にかかる酒税やその他の品物にかかる物品税といった間接税があります。

酒税や物品税などは，品物の価格のなかにその税額が含まれていることから，どんな品物にどのくらいの税金がかかっているか，御存知ないかたもおられることと思います。

この機会にお酒や品物にかかる税金を考えてみませんか。

＜酒税＞ 負担率
- 清酒1級……26.6%
- ビール……47.8%
- ウィスキー特級…48.2%

＜物品税＞
- ダイヤの指輪（小売価格46万円）……13%
- 乗用自動車 2,000cc（小売価格 200万円）……11.3%
- ルームクーラー（小売価格20万円）……10%

杉山『不動明王』

深緑一滴水を染め、断崖絶壁乱舞する。しぶきを浴びて身を浄め、万物流転の現世を、未来につなぐ不動尊。霧は不断の香を焚き、月常住の灯をかかげ、往き交う人の安全と、諸病平癒を拝めば、岩頭高く不動尊。

国道二八七号線を南進し、杉山よりわずか二、三分にして郡境不動沢に達する。車の左手不動橋のたもとに「杉山不動明王」と墨書された三旒の幟旗は涼風にひるがえる。この不動沢に今春四月、立派に不動明王が復元再建された。戦後長らく空座になっていたが、別当阿部清市氏が自ら不動明王を奉納し、本町佐藤昌俊氏ら施設設備一切を寄進し、美事復元した。

不動尊は総高五五糎重さ一五瓩、全身火焔に包まれた青銅製の誠に格調高い立像である。去る四月二九日福昌寺住職鈴木秀芳師によって立派に開眼供養された。これについて佐藤昌俊氏は語る。「信仰の世界に入って約十年。日本各地の霊場を始め、ビルマ、タイ、インドの霊場参拝をした。私の人生を一言にして言えば、健康、信仰、観光の三つです。これが私の生きがいです」。

不動明王は不動尊ともいって、五大明王の中心をなす仏である。衆生一切の悪魔煩悩を調伏し、色黒く眼を怒らし、右手に降魔の剣、左手に縛を持って常に大火焔に包まれ、磐石の岩上に立っている。民間信仰としては家内安全、交通安全、眼病の守護仏として信仰されている。例祭は今年から再建の四月二九日と変更された。

さて、不動尊の創建はいつか。別当の阿部さんは語る。今から七七年前の明治三九年、最上川の大洪水のため対岸の大舟木と今平の中間崩れが地崩れを起し、川がせきとめられた。この時阿部さんの祖父権吉が川魚とりのため川に行ったが、濁流に呑まれ遠く川下に押し流された。水中にあって権吉は心に神仏の救助を祈り念仏を唱えている中に、柳の木の根につかまり、九死に一生を得た。これぞ不動明王の加護の賜であると不動尊を祭ったのである」と。戦後心なき者の為紛失し、その後発見されたが、またまた行方不明となり、その後空座となっていたものである。

（文／広報委員**長岡幸助**）

元気いっぱい！水しぶき

＊第二回町内小学校水泳大会

去る七月十七日、第二回朝日町小学校水泳大会が宮小プールで行われました。梅雨空の肌寒い日でしたが、子どもたちは元気いっぱい各種目に水しぶきをあげていました。

とくに今回は、大沼分校や上郷小などの小規模校の活躍が目立ちました。

成績は次のとおりです。

■団体

▽200㍍リレー男子／①大沼分校②上郷小③大谷小
▽同女子／①大谷小②宮宿小③西五百川小
▽200㍍メドレーリレー男子①上郷小②大谷小③西小
▽同女子／①大谷小②宮宿小③西五百川小

■個人

▽50㍍自由形男子／①朽木昭博（西小）②志藤賢一（宮小）③小林和史（大沼分）
▽同女子／①小野由美（大谷小）②武田早苗（宮小）③伊藤美由紀（同）
▽50㍍平泳男子／①柴田仁（大谷小）②佐竹勝久（上郷小）③遠藤友章（大谷小）
▽同女子／①白田美代（大谷小）②大谷直美（同）③三嶋里美（宮小）
▽50㍍背泳男子／①若月直樹（和合小）②長岡誠（大谷小）③小野和俊（同）
▽同女子／①佐藤美雪（大谷小）②志藤小百合（同）③鈴木美也（宮小）
▽50㍍バタフライ男子／①佐藤幸夫（上郷小）②白田達也（大谷）③白田博（同）
▽同女子／①堀育代（大谷小）②佐竹留美子（西小）③桜井由紀（大谷小）

▲元気いっぱいプールにとびこむ子どもたち

ふるさとへの便り ▶15◀

ふるさとは心の支え

那須大谷　佐藤　常

《栃木県那須郡那須町大字大島1378》

私がふる里を後にしたのは今から四十二年前、母村大谷村が企画した満洲への分村移民に参加し渡航した時でした。理想農村の建設も、わずか七年にして敗戦という厳しい現実に直面しました。異国における難民生活を耐えぬき、この期間に犠牲となった一三二名の遺骨を胸に抱いて、混乱の祖国に帰還したのは昭和二十一年の秋でした。

私たち一同は北満で果し得なかった村作りへの情熱を、国内開拓に指向し、ここ那須山麓の原野に鍬を入れてから既に三十七年たちました。敗戦直後の国内開拓の厳しさを身をもって体験し、あらゆる困難を克服した結果、ようやく酪農経営を基幹とする分村の基礎を確立することができました。

総戸数八〇戸の内酪農専業農家六〇戸、乳牛総頭数約二〇〇〇頭、年間生乳出荷七、〇〇〇トン、これが那須分村の現況であります。

私たち分村の一同が一致団結してここまでこられたのは、ふる里への誇りを常に忘れず、母村との長い交流の中で必ず報われるものがあると確信し、ふる里の皆様と共に喜びあえる日を目標に努力した結晶が、今日の成果をもたらしたものであると信じております。

開拓の初期、あまりの苦しさに挫折しようとした私たちの開拓魂をよみがえらせてくれたのは、ふる里の

＊プロフィール

- 大正４年９月／大谷生れ
- 昭和８年３月／県立山形工業土木科卒業
- 昭和15年４月／満州国浜江省阿城県阿城大谷開拓団入植
- 昭和21年10月／内地帰還
- 昭和21年12月／那須町現在地に入植
- 昭和41年～55年／那須山麓酪連専務
- 現在／那須大谷開拓組合長
- 趣味／読書

青年海外協力隊員のたより

物価高に悩むガーナの人々

佐藤　勉（西町）

朝日町の皆さん、いかがおすごしでしょうか。ガーナもちょうどいま雨期に入っていて、毎日小一時間ですが、南国特有のスコールが降ります。でもスコールが去ったあとは、抜けるような青空が広がりとてもいい気持ちです。それに日本の夏とは違い湿度もかなり低いので、日本特有のじめじめするという事はありません。日中でも25℃前後までしか上がらず、朝夕は毛布をかけても寒いほどです。

私の職場は国立職業訓練所で、私は副所長と技術主任を兼務しながら、二十名の生徒を受け持っています。国立の職訓といっても、設備はほとんど整ってなく、材料も思うように手に入らない状態です。

今は生徒に製図などを指導していますが、私の語学不足と生徒の教育にも問題があり、思うように学習が進んでいません。なるべく早く語学不足を克服すべくがんばっています。

以前として物価は高く、自分たちが食べる食糧の確保に走りまわっています。物価に比べ国民の所得は低く、現に私の生徒は昼食を食べる金をいつも持ち合わせていなく、午後からの実習時間は空腹で立っていることができない生徒もおり、たいへんです。生徒に限らず、普通のガーナ人は昼食を抜いている様子です。

そんな物価高にもかかわらず、ガーナ人はいたって陽気に生活しているようです。たくさんの親切なガーナ人にめぐり逢うことができ、これから十九カ月、どうやらガーナに腰をすえて草の根レベルの協力活動ができそうです。それに私を見守ってくれているガーナ人の好意を大切にしていきたいと思っています。

ではまた、そのうちお便りします。

手に汗にぎる奉納試合

白山神社で恒例の剣道大会

「メーン！ドー！」緑深い白山の森に鋭い気合いが響きわたります。七月十八日は白山神社のお祭。恒例の奉納剣道大会が、百二十人の小中学生が参加して盛大に開催されました。

とくに、ことし初参加した宮宿小の選手の活躍が目立ちました。

成績は次のとおりです。

◆三年（基本技）…大谷小①白田真紀②白田美加③堀昭義、志藤彰彦**◆四年以下女子**①奈良崎洋子（宮宿）②岡崎千春（同）③佐野陽子（同）、鈴木加奈子（大谷）**◆五年女子**①阿部幸子（送橋）②安藤博美（大谷）③白田玲子（同）、白田美紀（同）**◆六年女子**／①小野由美（大谷）②清野尚美（送橋）③白田美代（大谷）、遠藤純子（同）**◆四年以下男子**／①清野泰彦（送橋）②安藤芳明（同）③工藤清隆（宮宿）、大谷輝夫（大谷）**◆五年男子**／①浅井周一（宮宿）②志藤晃一（大谷）③白田徹（大谷）、長岡勉（同）**◆六年男子**／①長岡泰（大谷）②柴田仁（同）③小松和之（同）阿部礼二郎（同）**◆中学男子**／①藤田康徳②志藤貞一③堀雅紀、堀裕次**◆中学女子**①清野由美②村山陽子③阿部由美子、渡辺真由美

▲奉納試合には大勢の人たちが応援にかけつけた

あらゆる階層の皆様が頻繁に当地を訪問され、しった激励の言葉をかけて下さったことです。それがどれほど分村一同の心の支えになったことか、計りしれないものがあります。

終戦当時三〇歳だった私も、既に六〇年代の半ばを過ぎましたが、これからも地道な村作りの精神を心の糧として、余生を有意義に過したいと考えております。

ふる里朝日町の次代を担う若い人たちに心から願いたいことは、今後限りない町の発展を考えるとき、目前の新しいもののみにまどわされず、町の長い歴史の中ではぐくまれた古きものの良さを十分に認識し、しっかりとした基盤の上に立って、新しいものの良さを地道につみあげてゆく努力が、より良い町づくりにつながるのではないかと思います。

後継者諸君の健闘を心から期待し筆をおきます。

戸せきの窓

●57年7月1日～7月31日届出

＊出生

区名	出生者氏名	父名	続柄
四ノ沢	近藤　潤	俊幸	長男
夏草	阿部康徳	徳雄	長男
八ツ沼	阿部晃佳	志良	長男
八ツ沼	佐竹祐樹	義廣	二男
常盤	鈴木晴美	栄吉	長女
大谷四	白田亜由美	剛	長女
松原	安藤秀也	茂雄	長男

＊死亡

区名	死亡者氏名	年齢	世帯主
白倉	田村　正志	64	タケヨ
小原	鈴木　信	76	薫示
助ノ巻	布施　政雄	58	おその
栄町	寒河江恒松	68	きよみ

＊婚姻

真中	大江町	
遠藤　信男	♥	渡辺よし江

町民意見箱と私

水と空気と緑を大事に

☆清野美千代さん（四ノ沢）

学生時代からバスケットをしているということで、スラリとしたお嬢さん。

我が町は自然に恵まれており、「**水と空気と緑をみんなで大事にする**」ことが、健康な体や心の育つ源だと思います。現在は、仕事に追われる毎日ですが、青年団活動にも参加し、月に一度は演劇鑑賞をするという動静合わせ持つさわやかさんである。ただいま恋人募集中！（国立療養所山形病院の看護婦23歳）

〈渡辺良明広報委員〉

さわやか君

画村　宗

車に乗ったらまずベルト

シートベルトは
あなたを守る“命の綱”

8月1日～31日

「シートベルト着用推進運動」

あなたは車に乗っているとき、シートベルトを着用していますか？

昨年一年間に交通事故で亡くなった方の約四〇％は、ドライバーや同乗者です。車に乗っていて万が一事故に遭った場合、その被害を防止したり軽減するのにシートベルトは大きな役割を果たします。

夏は交通事故が増加

夏は、暑さによる心身の疲労に加えて、レジャーや帰省などでマイカーの利用が増え、毎年交通事故が増加する傾向にあります。こうしたことから、八月は「シートベルト着用推進運動」が全国的に行われています。

ドライバーや同乗者の皆さん、ぜひこの機会に〝**車に乗ったら、まずベルト**〟を習慣づけてください。

善意のかご

宮宿小へバックネット寄贈

☆大町ソフトクラブ

このほど、大町ソフトボールクラブ（門間正治会長・会員数三七名）では、子どもらのスポーツ向上のためにと、宮宿小学校へ移動式バックネット（十万円相当）を贈りました。

宮小ではこれまで、バックネットがなかっただけに、このたびの厚意にとても喜んでおり、さっそくスポーツ活動に生かしたいと語っています。

広報あさひ　309号　発行所／山形県朝日町役場　編集／企画課　昭和57年8月15日発行　印刷／豊田太印刷所